

# 大館の歴史散歩

地域の事跡  
と人 ①

## 下川沿地区の先人

### 小林 重右衛門

大館市の西部に位置する下川沿地区は、旧羽州街道沿いの川口・立花などの集落で形成されている。この地区より輩出した先人には小林重右衛門のほか、鉾山の開発と経営に生涯をかけた小林要助、篤農家で上川沿村などの農業指導員として野菜と稲作技術の指導に大きな功績を残した鎌田茂治などがある。小説「蟹工船」「不在地主」などで知られる小林多喜二もこの地区の出身である。

重右衛門は、文化八年(一八一)に六代目重右衛門の長男として生まれた。晩年は酒屋を営み、安政五年(一八五八)九月に四十九歳の生涯を終えた。明治十四年(一八八一)の明治天皇御巡行の際には屋敷内に行在所が設けられた。

嘉永五年に重右衛門は、原野の開墾を思い立ち、当時の川口村肝煎佐藤兵左衛門、小松原与三郎や長百姓と諮り、郡奉行に水田開墾願を提出、許可された。この開墾のために用水堰の開削が必要となった。岩瀬川から取

水するために旧岩瀬・山田村と協議し工事が始まったが、一の渡隧道の難工事や翌年の水害で山田川の「とい」の堤防が決壊、工事が一時中止となった。藩の援助を受けてはいたが、この時までに三つの土蔵が空になったといわれている。明治二十六年になって九代目礼之助が有志とともに



重右衛門堰の隧道跡

に工事を再開、同二十八年に完成をみた。

重右衛門堰(川口では開墾堰とも呼んでいる)の流路は初めは山田村の西の沢に通す予定だったがといわれている。現在は圃場整備事業により開削当時とは流路が違っているが、田代町田茂ノ木地内の岩瀬川から取水し、

蛭沢、山田、川口の水田を灌漑する用水路である。完成当時は茂屋方山などの麓づたいに引水された。六カ所に隧道を掘削、高低差の大きい個所や山田川越えには「とい」(明治二十五年にサイフォン式となる)を利用した。現在、その延長は七・五\*に及び、受益面積は三六町である。明治以降の同堰の維持管理は、蛭沢・山田・川口地区による重右衛門堰組合が行った。同流路沿いに作られている嘉右衛門堰とともにその恩恵は大きいものがある。

〔参考文献〕  
秋田県土地改良史 旧山瀬郷土史

市役所史跡探訪会

## 私の本棚

中央図書館新着図書

### 『今昔都名所図会—洛南—』

竹村俊則・文 横山健蔵・写真 京都書院

安永年間(1772~1781)

に刊行された京都の名所案内記「都名所図会」。その挿画と同じアングルにカメラを向け、名所、旧跡、年中行事を通じて京都の昔と今を対比する。



◇明け方の夢【上・下】(シェルダン)

- ◇少年行(南條範夫) ◇台所のおと(幸田文) ◇遭難者(石原慎太郎) ◇それぞれの賢治(沢口たまみ) ◇水戸の椿(沢田ふじ子) ◇眩暈(島田荘司) ◇夢を見るかもしれない(ロバート・B・パーカー) ◇みちのく百山百湯(奥田博ほか) ◇ぼく達はこの星で出会った(中村八大) ◇京に暮らすよるこび(寿岳章子) ◇イワナ棲む山里(足立倫行) ◇進化の隣人サルとの対話(河合雅雄) ほか
- ◇ふしぎなたね(安野光雅) ◇海時間のマリン(名木田恵子) ◇子うさぎチャメの1年(富士元寿彦) ほか

11月のテーマ関連図書コーナー

『信長(戦国武将)』

親子読みきかせ会

毎月第1金曜日 午後2時30分から

中央図書館の休館日

11月23日、26日

## クイズ 広報 おおだてがヒント

▽問題

- ① 大館では今年1月から10月までに何件の火災が発生した?
- ② 市議会臨時会で可決された補正予算。今回の補正は国の何対策に伴うもの?
- ③ 市政功労表彰、今年受賞者は何人?
- ④ 1993年版県民手帳は1冊いくら?
- ⑤ 手作り年賀状募集中。締め切りはいつ?

▽応募方法

- はがきに住所、氏名、年齢、性別、答え(例①—⑤)を書いてご応募ください。
- ▽締め切り  
11月28日(土) 当日消印有効
- ▽応募先  
〒017 大館市宇中城20番地  
広報おおだてクイズ係
- ※全問正解者の中から抽選で5人にオリジナルテレホンカードを贈ります。
- ▽10月16日号の答え  
① 看護・医療技術 ② 20周年  
③ 横浜市 ④ 4、094円  
⑤ 11月1日~7日
- ▽10月16日号の当選者  
・荒川 功さん(日景町)  
・三浦富士子さん(御成町3丁目)  
・高橋タミさん(御成町2丁目)  
・織田 勲さん(観音堂)  
・藤垣ツマ子さん(松木)
- ※応募総数58、全問正解者52人。